



あけましておめでとうございます。年男年女登場！

ベイタウンの 2000 年がよい年でありますように。

今年の新年号も恒例の「年男年女さん大集合」です。23 人の辰年生まれの方々が集まりました。撮影当日 (12/19) は、ベイタウンの将来を思わせるかのような晴れ晴れとした晴天。住民が待ち望んでいるコミュニティ・コアの建設予定地をバックに撮影が行われました。次回はいよいよ定点撮影のクライマックス、変貌するコア用地 (2001 年度完成予定) をバックに撮影が行われます。乞うご期待！以下はご夫婦で参加された大島さんとセントラルパークの後藤さんのお話です。



二人とも勤めていて、子どももいないので普段はあまり街の行事に参加する機会がありません。今回はインターネットに「年男年女」の記事があったので、二人で参加することにしました。ベイタウンに住んで 3 年目になりますが、通勤に時間がかかるのが難点のほかは土日はのんびり過ごせていいところです。これまで、買い物が大変でしたが、リンクスができて幸せ！ベイタウンも日に日に変わっていきますね。

特に年男年女で意識することはないんですが、「健康で、仲良く、楽しく」過ごせたらいいですね。← 7 番街 216 号大島勇人・由美子

この 9 月に引っ越してきました。こういう機会に知り合いになれたらと思って参加しました。快適なベイタウンライフを送っています。緑が多くて、家からは海が一望できていいですね。家も買ったし、目標というほどのものはありませんが、「無事に平和で健康で、そして夫婦仲良く」と願っています。

セントラルパークウエスト C -1003 後藤直哉さん

付き添いで来た奥さまと→



ベイタウンニュースの 1999 年

- ◆ サポーター制度発足
- ◆ ベイタウン祭りで駄菓子屋出店 (5 月)
- ◆ ベイタウンネットと協力関係を結ぶ
- ◆ CNC の取材を受ける
- ◆ デッキの名前募集 / 「マリーナデッキ」に決定 (10 月)
- ◆ 第 1 回ベイタウンフォーラムに参加 (10 月)
- ◆ NHK・BS の収録 (11 月)
- ◆ サポーターを交えての忘年会開催 (12 月)

ミレニアム特集！ ベイタウンの「あしたはどっちだ

ありや。いつの間にやら、幼稚園や保育所や医療施設のマークがなくなってるなあ。そう言えば、「インターナショナルスクール」の文字もない。計画中の施設で残ってるのは、「コミュニティコア」の文字だけ。なんだか、急にさびしくなってるぞ。

最新の土地利用計画図(99年4月1日付け)でふとベイタウンを見ると、前はあったのに図ではなくなってるマークや文字が！ 商業地区でも、半数以上の区画で進出企業がいったん決まっていたのに、すでに撤退したところもあります。大型店舗やアウトレットモールの出店は新聞報道でも伝えられたものの、ほかはどうなってるの？

そんな中で耳に入ってきたのが、ベイタウンの全体計画を県企業庁で見直してるとの話。こりゃあ、うかうかしてられない。切りのいい新年号を機にいっちょ整理してみましょう、と取材した結果が下の図です。

県企業庁では「全体計画の見直しに関しては年度内に明らかにする」(幕張新都心建設課住宅地区建設室)と、全体像を明らかにしてません。ただ、下図に示したように、インターナショナルスクールの誘致は断念して、土地利用を住宅に切り替えるなど、いくつかの点は認めています。ベイタウンに限ってはマンション市況は悪くないのか、現実性の高いマンション供給は今後も進みそうです。

バブル時代の計画が経済環境の変化で次々と崩れてく一方、根強く残るのが第二湾岸道路の建設計画です。京葉道路や湾岸道路の渋滞解消と、臨海部の大型開発を結び付けるのを目的として、国や県が推進してる計画で、湾岸道路のさらに海側を、東京都大田区から千葉県市原市まで約50kmにわたって高速道路でつなぐものです。

86年度から調査に入った建設省では「どこを通すかは未定」(道路局企画課道路経済調査室)



と言いますが、海際を走る県道千葉・船橋海浜線に沿って予定地らしき空き地が延々と続いているのも事実。推進役の県道路計画課でも「利用する可能性はある」と、ここを予定地とみることを否定はしません。

「計画」はいつの間にやら進んでいたり変わっていたりするものです。ふと気付くと、思いも寄らない方向に向かっていて、なんてことにもなりかねません。まずは、「自分たちの街」に関心を持ち続けましょう。(茂木)

●ベイタウン周辺の将来計画

<住宅地区>

- ①コミュニティコア：県企業庁が図書館と公民館と子供ルームを備えた施設を12番街寄りの一角に建設。延べ面積は2000㎡程度。県企業庁では、年度内にも設計者の選定を終え、平成12年度内に工事に着手する予定。完成後は、千葉市で施設を運営・管理する。
- ②保育所③幼稚園④医療施設：保育所は、千葉市が県企業庁から土地を無償で譲り受けて、「公設公営」または「民設民営」で整備する。幼稚園や医療施設は、ここで開園・開業する運営主体が県企業庁から土地を譲り受けて建設・運

営する。ただ、オープン時期はどれも未定。例えば保育所に関しては、市の「第6次5か年計画」(計画年度平成8～12年度)に位置付けられているが、市が財政難を理由に計画年度を平成14年度まで先送りしたため、遅れ気味。市では「できるだけ早い時期に整備したい」(保育課)というが、具体化のめどはまだ立っていない。医療施設に関しても、進出意欲のあるところはすでに店舗スペースで開業済みという事情もあって、県企業庁でも「見直しは立たない」(幕張新都心建設課住宅地区建設室)と言う。

⑤インターナショナルスクール→住宅：全体計画見直しのひとつ。ベイタウンの整備を担当する県企業庁幕張新都心建設課住宅地区建設室は「インターナショナルスクールは文教地区に誘致する方向に切り替える」と言うが、同地区の施設誘致を担当する県企業庁幕張新都心整備課は「文教地区への誘致はむずかしい」との考えだ。

⑥公団分譲住宅→民間分譲住宅：これも全体計画見直しのひとつ。この街区で分譲住宅を建設する予定だった住宅・都市整備公団が昨年10月に都市基盤整備公団に衣替えして、分譲住宅事業から手を引いたことから、県企業庁では住宅整備を民間デベロッパーに委ねることになった。

⑦⑧⑨公団賃貸住宅：都市基盤整備公団が賃貸住宅を建設。⑦⑧は中層住宅で⑨は高層住宅の予定。

⑩⑪公社賃貸住宅：県住宅供給公社が賃貸住宅を建設。⑩⑪ともに中層住宅の予定。

⑫⑬⑭⑮⑯民間分譲住宅：民間デベロッパーが分譲住宅を建設。⑫は超高層住宅、⑬⑭⑮は高層住宅、⑯は中層住宅の予定。

※1 矢印付きは計画を変更したもの。もとの計画は県企業庁が90年10月に作成した「幕張新都心住宅地事業計画」で想定していたもの。

※2 図の濃いグレーの部分は、公園・緑地スペースとしてすでに整備済みか計画中のところ。薄いグレーや白抜きで番号の入っていない部分は、リザーブ用地など。全体計画の見直しで、住宅用地や駐車場用地として位置付けられる部分も出てくるとみられる。

<商業地区>

①大型商業施設：カルフル・ジャパンが延べ面積約5万2000㎡の商業施設を建設・運営する。開業は2000年12月の予定。

②イベント用地：県企業庁では、分譲先が決まるまでの間、イベント会場として利用していく考え。

③アミューズメント施設用地：シネマコンプレックスを核としたアミューズメント施設を建設する計画。県企業庁では事業主体の候補と交渉中。「年度内には決着をつけたい」(幕張新都心整備課)との意気込みをみせる。

④アサヒビール所有地：すでにアサヒビールに分譲済み。県企業庁では「具体的な計画は聞いていない」(幕張新都心整備課)と言う。

⑤駐車場：アウトレットモールの駐車場として整備する。5区画のうち一区画は2層3段式で、残りは平面の予定。

⑥アウトレットモール：三井不動産が延べ面積2万㎡近いファッション系アウトレットモールを建設・運営する。開業は10月の予定。

※1 大型商業施設は20年、アウトレットモールは15年の暫定利用。

※2 県企業庁では、ブレナ幕張やホテルスプリングス幕張の駐車場を、相手先が決まれば分譲する考え。



ベイタウンの顔を表現しよう

打瀬中学校1年生が「情報をデザインする」

昨年の12/13と12/17に、打瀬中学校で「情報をデザインする」という内容の授業の発表が地域開放で行われました。12月号のきょういくベイタウン誌でも開催をお知らせしていたので、当日は保護者の方だけでなく地域住民が多数見学に訪れ、改めてベイタウン住民の教育熱の高さに驚きました。また、非常に先進的な授業ということもあって多数の教育関係者や報道関係者が訪れ、更にベイタウンの設計コンセプトについて中学生が考えるということもあって千葉県企業庁からも授業を見に来ていました。

授業のタイトルは「ベイタウンの顔を表現しよう」。昨年10



月から生徒たちがベイタウン内を実際に歩き、自分で体験し、公園や歩道で住民にインタビューして集めた情報を、従来の紙を利用した方法と、新しいメディア機器（コンピュータや100インチもある大型のビジョン）の2つに別れて分析し、表現するという授業でした。テーマからは社会科の授業のようでもあります。表現ということに重点がおかれているので美術の要素もあり。一言でいえば「総合学習」ということになるのだそうです（実際に授業を担当したのは美術科の先生でした）。紙を使ったグループも、CB（コンピュータ機器）を使ったグループも、中学生独自の視点でベイタウンを分析し、初めての試みとしては生徒達はぜひ面白い分析や表現をしていると思いました。授業を見学に来ていたプロのデザイナーからは、「デザインの仕事は何より楽しみながらやるのが最も大切。今回の授業では皆さんが楽しくいきいきと表現していることとその質の高さに驚きました」とのコメントをもらっていました。

取材したベイタウンニュースの記者としては、昨年の3月に打瀬小学校を卒業し、4月に中学に入学したばかりの子供たちが、小学生の頃と比べ随分遅くなり、こんな素晴らしい授業を行えるほど能力も考え方も成長していることに驚きました。小学校から中学校へ、沢山の「未来からの留学生」の成長ぶりを身近に見られる。地域に開かれた学校の成果です。今回の授業を地域公開にくださった打瀬中学校の皆さん（勿論生徒の諸君にも）に感謝します。（松村）

新しい仲間がふえた クリスマスパティー

さる12/18・19、街のあちこちでクリスマスパーティーが開かれました。そこで今回新しい街区セントラル・パーク・ウエスト（以下CPW）、公園西の街、東の街のクリスマスパーティーにお邪魔してみました。

何と参加者170人 - 公園東の街 (12/18)

発起人の方々が、クリスマスパーティーのお知らせを東の街のポスト全戸に配布されたからか…なんと参加人数、大人110人、子ども60人!の大パーティーになりました。お料理、お菓子、おつまみ、お酒などは参加者の持ち寄りでしたが、「集会所に、そんなたくさんの人たちが入れるだろうか?」と、前日までスタッフの皆さんはとても心配されていたようです。しかし当日、ホワイトスプレーやカラーリボンで綺麗に飾り付けられた会場は、窮屈さを感じる事もなく、参加者のみなさんの手料理や秘蔵のお酒もテーブルの上にたくさん並び、大人も子どももたいへん楽しそうでした。この会のイベントで面白かったのは「自己紹介ビンゴ」でした。それは白紙のビンゴカードに、自己紹介をした人の名前を書いていくもので、自分の欄(1)以外をうめるには5×5-1(自分)=24というように、24人の人たちと会話をしなければならないビンゴです。このビンゴが盛り上

がり、イベントとして楽しみながらたくさんの知り合いができたということで、大成功だったようです。パーティー終了後、発起人のひとり樺田さんに感想をお聞きしたところ「今、会場を見ると…つわものどもが 夢のあと…という感じです。今日は、みなさんに楽しんでいただけて、とてもよかったです。」とのことでした。

魔法のクリスマスブーツで楽しさ二倍 - 西の街 (12/19)

西の街のパーティー会場に入ると、たくさんのかわいい赤いブーツが出迎えてくれました。このブーツは色画用紙などを使って子どもたちが作ったもので、25日までコミュニティルームに飾られ、25日の朝自分のブーツを取りに行くとサンタさんがプレゼントを入れてくれてあるという夢のある企画でした。パーティーのほうは、子どもたちだけでも70人の参加があり暖房が要らないほどの熱気!! クライマックスは"GPWメリークリスマス大抽選大会"で、住人の方扮するサンタさんからプレゼン

トをもらい、小さい子から中学生までニコニコ顔の楽しいパーティーでした。

語り合うタベ…大人のクリスマスパーティー - CPW (12/19)

CPWのパーティーは、インターネットの掲示板で参加者を募ったもので「ワイングラスを傾けながら、じっくり自己紹介ができる集い」をめざし、大人14人(子ども3人)がロマンチックに明かりを抑えたキッチンハウスで楽しく語り合いました。ビジネスやグルメな話、最近の女子高生の化粧法から、ベイタウンの駐車場の話、コア研の話など豊富な話題で盛り上がり、「CPWで、仲間をどんどん増やすための核としての結束の会になりました。」とは、参加された荒巻さんの感想でした。（浜田）



友だちを作るきっかけがほしいという方、 集まってみませんか？ 「子供のいない主婦のサークル」仲間募集

私自身、引っ越してきて2ヶ月になりますが、近所にお友だちを作るきっかけがありません。週に一度くらい集まって、地区の情報の交換をしたり、家事や手芸などをいっしょに学ぶ、おしゃれなサークルにしたいと思います。とりあえずティーパーティーでもしませんか？下記までお気軽にTELして下さい。

公園東の街・堀川 TEL.276-7545

新春茶話会のお知らせ

ただいま、こむこむ（自治会連合会）の有志は、新春にあたり、茶話会を企画しております。当日は師範による詩吟の披露、短歌や川柳の披露を交え、ベイタウンに在住のみなさまのささやかな懇談の場といたしたく、みなさまのご参加をお待ちしております。

日時：1月22日（土）午後

場所：3番街集會室（予定）

詳細については別途掲示等でご連絡いたします。



2番街に掲示板ができました

自治会連合会では昨年12/26より、2番街空店舗に掲示板を設置しました。連合会情報の広報を目的とした掲示板ですが、政治、宗教、営利目的でなければ誰でも利用できます。また、営利目的でもベイタウン居住者の方で個人レッスン指導等のポスター掲示であれば利用可能です。

掲示ご希望の方は、イベント委員会佐藤（#17-214/TEL:212-5630）か連合会長田村（#5-205/TEL:211-0095）のポストに掲示物を入れて頂ければ週末に掲示を行います。更新は週1回程度ですが、緊急の場合は即日の掲示も行います。掲示期間は原則として2週間程度です。皆さんの活発な利用を待っています。

バーミヤン出店についての住民説明会開催

1/16（日）午前10:00より、リンクス2Fに出店を予定している「バーミヤン」についての出店計画説明会が開催されます。

場所は清水建設（株）の現場事務所（地図参照）です。



育成委員会広報部から「お詫びと訂正」

『育成委員会だより』第5号の中に一部誤りがありましたので、お詫びし訂正いたします。

■訂正箇所

青少年育成委員会委員名簿内〈レクリエーション・福祉部〉
（誤）石原通男（正）得藤圭子

編

■パティオスの街並みがグッドデザイン賞を受賞したというニュースを前号でお知らせしました。1年をしめくくる素晴らしい受賞です。今度はまちづくりといったソフトの部分でグッドデザイン！と胸をはれるようになりたいと思います。昨年1年、楽しく取材させていただきました。早く取材に応じてくださった皆様、サポーターの皆様にお礼申し上げます。

タウンスケッチ記者：#3-310 佐藤則子（T & F 211-0090）

■先月号で「バーミヤン」の記事を載せ、どんなにすごい反響が来るだろうかと半分恐れ、半分期待して待っていたのですが、意外や意外、投書はゼロ件です。メールが1件あったのですが、特に反対とも賛成とも付かない内容でした。この街の人たちは、意外におとなしいのかしらん？とにかく、連合会が動いてくれて、対住民説明会が開催される運びとなったので、今度はそこで

集

の皆さんの意見を期待しています。

編集：#1-210 号板東司（T & F211-0289/tbando@dpu-netsurf.ne.jp）

■シータワー建築現場に独占取材！このニュース創りを続けてきて、めったにない役得でした。大きな構造物ができていく様は、大変興味深いものです。特に、普段は見る事ができない、住宅の裏側まで覗くことができ、とっても楽しい1日でした。鈴木工事長、ありがとうございました。

企画：#3-220 号金一剛（T & F211-0388/ikkim@xa2.so-net.or.jp）

後

■今回取材したクリスマスパーティーの話ですが、このパーティーでもスタッフの方々のたいへんな活躍に驚かされました。また、新しい街区のスタッフは、もともとベイタウンネットで知り合った人たちが多く、連絡方法はメールなどの電子的手段を使っていたものの、イベント担当がたまたま通勤電車が同じで、相談は毎日電車の中だったとか、お母さんネットワークを使い二班に分けて二つの公園で参加者を募ったなど聞きますと、その活動力とこれからのいろいろな可能性に期待がどんどん膨らんでしまいます。

記者公園東の街 浜田貴代子（atmark@pop01.odn.ne.jp）

■今月もベイタウンでは沢山のイベントや集会がありました。各番街のクリスマスパーティ、もちつき大会、ワインパーティ、コア研究会の集会、エコパークのフォーラム、「なすの会」の収穫祭、建築専門家のベイタウンでのシンポジウム、いろいろなサークルの忘年会、テレビ局のイルミネーションの撮影、打瀬小学校の地域交流特別クラブ、打瀬中学校AS講座。これらはみんな今月のベイタウンニュースでお伝えできなかったものばかりです。ベイタウンの活動は新しい番街のオープンと共に更にダイナミックになりました。ベイタウンニュース、今月は伝えきれなかったという点で、街のパワーに敗北です。

技術：# 10-612 号松村（T & F211-6853/m-matz@mxq.mesh.ne.jp）

■小学生の娘に「お父さんの職業はベイタウンニュースをつくること」と書かれたことがあります。いや、そうじゃないんだってば。これじゃ給料もらえないんだよ。でもまあ、子供の目にふれないとこで働いててもピンとこないだろうしなあ。よっしゃ、こっちは職業変えて、ベイタウンで働くか、なんて考えてしまいました。

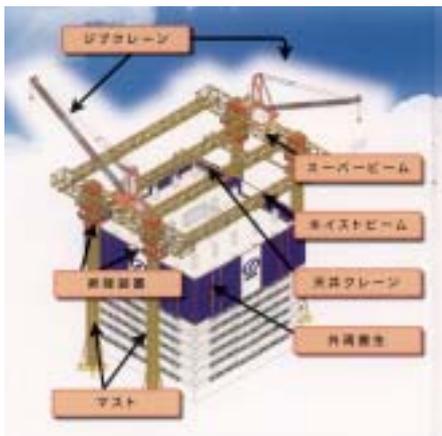
記者：#7-301 茂木俊輔（T&F211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp）

大きな黄色いクレーンの話

セントラルパークウェストの建築現場で、日に日に高くそびえたち、とうとうベイタウンで一番高い所にまで達してしまった黄色いクレーン。何やら見なれない姿が気になっていた人はいませんか？実は私もその一人なのですが、そんなあなたに成り代わり、施工者である清水建設の協力を得て、建築現場に行って取材をしてきました。

建築しているのは、「セントラルパークウェスト／シータワー」32階建て、102.136m（建物高さ。屋上の施設まで含めた最高点は、111.336mに達します）です。

この建物は、超高層には珍しく、鉄骨を使わない鉄筋コンクリート造りとなっています。建築には、「ニュースマートシステム」「サイトファクトリー」といった最新の建築手法が取り入れられており、黄色いクレーンは、このうちの「ニュースマートシステム」と呼ばれるものだそうです。



このシステムは、下図に示すように、4本の柱（マスト）の上に、縦横に鉄骨を組み合わせた足場（スーパービームとホイストビーム）があり、その上に地上からの資材揚げのための大きなクレーン（ジブクレーン）2基と、スライドしながら建築階の取り付け作業を行うことが

できる天井クレーン4基から構成されています。通常の高層建築用のクレーンに比べて、資材を揚げるためのクレーンと取り付け作業を行うクレーンが別々なために、作業能率および安全性の向上が望めるということです。

さて、ここで気になっていたことをいくつか質問してみましょう（清水建設の鈴木工事長にお相手して頂きました）。

- Q： どうやって上がって行くのですか？また、降りるときは？
A： 構造全体を地上で組み立てた後、マストを自分で継ぎ足しながら、ジャッキアップの要領で昇って行きます。降りるときは、天井クレーンと中央の2本のホイストビームを解



クレーン上部よりベイタウンを望む（写真提供：清水建設）



ニュースマートシステム全貌（建設開始当初。左下の鉄工所のような現場が「サイトファクトリー」です。写真提供：清水建設）

体し“ロ”型にした上で、ジャッキダウンしては上に残ったマストを降ろして行きます。

- Q： 1回で昇る高さは？また、何日毎に昇るのですか？
A： 1回で2フロア分昇ります。各階3.1mなので、1回には約6m昇ることになります。また、1フロアは実働7日で作業していますので、16～17日で1回昇ることになります。
Q： 弱点はありますか？
A： 現場でコンクリート打ちを行いますので雨は苦手ですが、幸いこれまでは恵まれてきました。それよりもやはりここ（幕張）では風が一番の大敵ですね。



取材風景

予備知識を得たところで、私たち取材班も建築中のビル内を見学させて頂きました

た（クレーン自体はハシゴで昇らなければならない、危険なので見学者は昇りません。ビルの方は、取材時点では13階までできていました）。第一の感想は、やはり高い！見晴らしが良い！ということ。これが32階になったら、どんなに素晴らしい眺めとなるか、想像に難くありません（32階までできたら、入居が始まる前に、再取材をしよう、と胸に誓う記者たちでした）。

作りかけの各戸内も見せて頂きました。配管や配線がすっきりして、整然としています。一方で、間仕切り壁を取り付ける芯にあたる部分は、ほとんど“木造”な点には驚きました。各戸毎に一人の大工さんが担当し、壁の取り付けまでは一人で仕上げしてしまうということです。こんなハイテク建築の中で、“手造り”の技が活かされているということは意外でしたが、ちょっとホッともしました。

ベイタウンには、日々変化があります。日頃の生活の中で、「あれは何だろう？」「これを取材して」ということがあれば、遠慮なく編集局までリクエストして下さい（各コンビニ、ヤンマー、リンコスに設置の青い投書箱またはe-mailへお願いします）。【板東】

新年にあたって

千葉県立打瀬中学校長 石原 通男

明けましておめでとうございます。

保護者並びに地域の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新たなる千年記の夜明けを迎え、今年の初詣ではどのような願いを祈りに込められましたでしょうか。初夢に大きな期待や希望を託した方も多かったことと存じます。

2学期は、生徒諸君の頑張りで体育祭をはじめ、2年生の自然教室、文化祭、スポーツ・イベント等、全ての行事を感動のうちにおえることができました。

こうした活動に対しまして、沢山の保護者や地域の皆様方にご理解・ご支援をいただきましたこと心より感謝申し上げます。

さて、冬休みに入ってすぐの25日に、青少年育成委員会主催の“餅つき大会”が行われました。何のお手伝いもできませんでしたが、私も初めて参加いたしました。ご両親に手を引かれた幼児や、小中学生・地域の皆様が沢山参加され、受け付けは長蛇の列となる大変な賑わいでした。

二十一世紀のライフスタイルを指向して、建設の槌音響く新しい街“幕張ベイタウン”に、年の瀬の風物詩であり、日本の伝統的な行事でもある餅つきの“杵搗く音”が聞かれたことは、この街を“ふるさと”とする子ども達にとって、よき思い出としていつまでも心に残ることと思います。

つきたての餅に、大根おろしをまぶした辛味餅をいただきましたが、味は最高でありました。

何より、こうした行事を企画運営された方々のご苦勞を思う時、お骨折りをいただいた育成委員会会長の鎌田さんをはじめ、育成委員の皆様や自治会連合会の皆様方の“街づくり”と、“子ども達を地域で育てる”ということへの情熱と意気込みを一層強く感じた次第です。

さて、3学期は、短い期間ではありますが、生徒諸君が2学期に培った力を生かしながら、「1年間の仕上げ」をしっかりと行いたいと思います。

3年生は、受験で気忙しい時期を迎えます。しかし、こういう時ほど、普段通りの落ち着いた生活を心がけさせたいと思います。



生徒会役員は、昨年の秋11月に、旧役員から2年生中心の新しいメンバーにバトンタッチされ、積極的な活動が始まっております。この先、“3年生を送る会”や“卒業式”といった大きな行事も予定されております。

そして、12月に初めて開催いたしましたアフター・スクール講座（地域の皆様に講師になっていただき授業を展開していただく課外授業の講座）の第2回目を2月中旬に予定いたしております。

今年も、本校教育活動に対しまして、保護者並びに地域の皆様の一層のご理解・ご支援を重ねてお願い申し上げます。

打瀬中生徒会を担う、新しい中央役員たち

昨年の10月13日、打瀬中学校では次期生徒会役員選挙の投票が行われました。

今、打瀬中学校の生徒会は旧役員から新しい中央役員に引き継がれ、21世紀を目指す生徒会をつくり始めています。そこで、新しい中央役員の皆さんに抱負を語っていただきました。

生徒会長 新井慶太（2-B）

このたび生徒会長になりました新井慶太です。

はじめは、生徒会長のような事が自分にできることなのだろうか心配でしたが、今では少し慣れて、新しい役員による初めての大きな行事「3年生を送る会」について学年生徒会と連携して計画を練っているところです。

さて、僕が生徒会長になりたてのころは「この学校をより良くする」ということしか頭にありませんでした。

しかし、このごろよく思うのが、「挑戦」の二文字です。最初この文字の意味することは、自分でもよくわかりませんでしたが、仕事をこなしていくうちに、だんだんわかってきたのです。それは、「自分への挑戦」あるいは「生徒会本来の目標への挑戦」です。生徒会本来の目標、すなわち「学校をより良くする」ことが、今の生徒会でどこまで実現できるかということ。自分への挑戦、それは、生徒会長としてではなく一人の生徒としてどこまで学校に尽くせるかということです。この二つの挑戦に任期一年の中で、力の限り頑張っていきたいと思いません。

司会（議長）木村 浩一郎（2-B）

このたび、新生徒会役員議長をやらせていただくことになりました木村です。正直言って僕はいつからか生徒会役員になる自信をなくしかけていました。なくしかけ始めたのは、そう立ち会い演説会で少し失敗したころからでしょうか。しかし、生徒会に入ったからには、精一杯がんばらなくてはなりません。これからは、まず第一に学校を楽しい場に行きたいと思えます。また、2つ目には、募金活動を活発にして行きたいとも思っています。これらのことを無事成功させるためには、地域の方々のご協力がどうしても必要となることがあるかもしれませんが、その際には、どうぞご協力お願いいたします。そして、どうぞ今年一年間、我々新生徒会をよろしくお願いいたします。

山畑 俊輔（2-B）

この度、新しく生徒会中央役員になりました山畑です。

僕は今の三年生や卒業していった先輩達が築き上げていったこの打瀬中をさらに良い学校にしたいと思っています。具体的には募金活動を盛んにしたり、生徒一人一人の意見を反映できるよう、意見箱の活発化を図りたいです。

もう二ヶ月以上も新しい生徒会で活動していますが、会長である新井君を中心に、他の中央役員四人とこれからは頑張り、この学校を盛り上げて行きたいと思いません。

富川 真希（1-A）

私は中央役員になって、仕事が多く大変だなど思いました。でも、本部はけっこう仲がいいので仕事が早く進み、楽しいです。話し合いや決議することもスムーズに運びます。こんなチームワークのよさを学校全体に広げていけたらいいなと思います。そして委員会と生徒会、先生方や地域の方々と協力し、連携して何かを作っていければきっと素晴らしいことができるんじゃないかと思えます。中央役員として、私ができることは少ないけれど、ほんの少しでも、学校のためにできることを実行していつか学校に役立っていければと思います。

心配な事もありますが、大好きな打瀬中をよりよい学校にしていくために、一生懸命がんばります。

太田 佳織（1-B）

私は、今年の10月の始めに選挙があり、当選できたことを本当にうれしく思っています。“学校の中心に立って学校を動かしていく”という仕事をやるのははじめてです。年々うけつがれていく生徒会。今年は女子が2人だけですので、中央役員に入って活動を始めた頃はすごく心細かったのですが、今になっては、中央役員のメンバーの誰とでもしゃべれるようになりました。

私は書記をやることになりました。書記は1ヶ月の予定を書いたり、代表委員会の時に黒板にいろいろなことを書いたりという仕事をしています。けっこう大変な仕事ばかりです。これから約1年間行事が盛り上がるようにならなければならないと思います。

選挙の時応援していただいたみなさん、本当にありがとうございました。これからはがんばりたいと思うので、又、ヨロシクお願いします。

片寄 雅史（1-B）

今まで自分は大きな仕事をする事はほとんどありませんでした。中央役員に入ってから、文化祭や生徒集会のことについての大事な話し合いで忙しくなりました。

集会で大勢の人の前で話せるようになったり、行事を行うための企画や運営の方法などを学ぶことができたことが、中央役員になって大きく変化したところだと思います。

ぼくはこの経験を生かしながら、体育祭などの大きな仕事の中心となって取り行っていきたいと思えます。